

令和元年

全員協議会記録

令和元年12月26日

和光市議会

全 員 協 議 会 記 録

◇開会日時 令和元年12月26日(木曜日)
午前 9時30分 開会 午前10時24分 閉会

◇開催場所 全員協議会室

◇出席議員 17名

議 長	吉 田 武 司 議員	副議長	待 鳥 美 光 議員
2 番	猪 原 陽 輔 議員	3 番	熊 谷 二 郎 議員
4 番	鳥 飼 雅 司 議員	5 番	内 山 恵 子 議員
6 番	齊 藤 誠 議員	7 番	伊 藤 妙 子 議員
8 番	富 澤 啓 二 議員	10 番	金 井 伸 夫 議員
11 番	赤 松 祐 造 議員	12 番	小 嶋 智 子 議員
13 番	松 永 靖 恵 議員	14 番	萩 原 圭 一 議員
16 番	富 澤 勝 広 議員	17 番	安 保 友 博 議員
18 番	齊 藤 克 己 議員		

◇欠席議員 1名

1 番 菅 原 満 議員

◇出席説明員

副 市 長	大 島 秀 彦	企 画 部 長	橋 本 久
総 務 部 長	安 井 和 男	建 設 部 長	木 村 暢 宏
企画部次長兼 政策課長	奥 山 寛 幸	建設部次長兼 都市整備課長	加 山 卓 司
総務人権課長	亀 井 義 和	政策課主幹兼 課長補佐	渡 辺 正 成
都市整備課主幹 兼課長補佐	本 多 宏 己		

◇事務局職員

議会事務局長	本 間 修	議 事 課 長	末 永 典 子
議事課長補佐	細 野 千 恵	主 任	青 木 順 子

◇本日の会議に付した案件

第五次総合振興計画について

東京外環自動車道新倉PAのサービスエリア化による地域振興について

午前 9時30分 開会

○吉田武司議長 皆さん、おはようございます。

ただいまから全員協議会を開催します。

ここで、欠席届の報告をします。

菅原議員から、例月出納検査従事のため欠席の届け出がされています。

初めに、副市長より挨拶をお願いします。

大島副市長。

○大島副市長 皆様、おはようございます。

本来であれば市長から挨拶を申し上げるところでございますが、所用により市長、本日出席できませんので、私から挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、日ごろから市政運営に格別の御理解、御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。また、本日は大変お忙しい中、全員協議会を開催していただきまして、まことにありがとうございます。重ねて感謝を申し上げます。

本日は、第五次和光市総合振興計画の策定並びに地域振興に向けた東京外環道新倉パーキングのサービスエリア化について御説明を申し上げます。

まず、第五次和光市総合振興計画の策定についてでございます。

本日、お示しいたします構想骨子（案）でございますが、この案は和光100年まちづくり会議など市民参加を通じて作成したものでございまして、年明けの1月からパブリックコメントを予定しております。

この構想骨子（案）では、将来都市像及び市民生活の目標像の2つをお示ししております。

将来都市像につきましては、第四次和光市総合振興計画の「みんなでつくる 快適環境都市わこう」の理念を継承しつつ、100年後をイメージした「みんなをつなぐ ワクワクふるさと和光」を新たな将来都市像としております。

また、この将来都市像を実現するために、市民1人1人の生活をイメージした市民生活の目標像は、それぞれの目標像における目指すべき姿や主要課題を示しております。

今後は、この構想骨子（案）を踏まえ個別施策の素案づくりを進めてまいります。

次に、地域振興に向けた東京外環道新倉パーキングのサービスエリア化について御説明申し上げます。

現在、工事が進められております東京外環道大泉工区の工事が2020年代半ばに完成いたしますと、外環道は東名高速道路から東関東自動車道までの約65km区間が一气通貫となり、外環唯一のパーキングである新倉パーキングのニーズがさらに高まります。

そこで、この機を捉え、隣接する約3haの未利用地と新倉パーキングを連携させ、サービスエリア化することで、農産物の直売や周辺地域の商業利用の向上など地域振興を図りたいと考えております。

現在、地域振興に向けた具体的な内容を協議する検討会を年明けの1月に立ち上げるべく、関係機関と調整を進めているところでございます。

また、昨日は、吉田議長にも御同行いただきまして、市長から青木国交副大臣に、新倉パークのサービスエリア化に対する要望活動を行いました。副大臣からは、大変前向きな御回答をいただいたところでございます。

それでは、詳細につきましては各担当から順次説明させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉田武司議長 本日の案件は、第五次総合振興計画について、東京外環自動車道新倉PAサービスエリア化による地域振興についてです。

初めに、第五次総合振興計画について説明願います。

橋本企画部長。

○橋本企画部長 それでは、第五次和光市総合振興計画について説明をいたします。

まず、1、第五次和光市総合振興計画基本構想の策定経過と今後の予定について説明をさせていただきます。

お配りした資料の1、基本構想スケジュールをごらんください。A3の資料になります。

これまで、基本構想案の策定に向けて、人口推計などの基礎調査、市民意識調査や和光100年まちづくり会議などの市民参加、そして庁内の組織でございます策定委員会、検討委員会、職員プロジェクトチームといった職員参加の取り組みを進めてまいりました。

基本構想の構想骨子の関連といたしましては、和光100年まちづくり会議の第1回、第2回での市民意見を基礎とし、若手職員による職員プロジェクトチームの検討を重ねて構想骨子（案）を策定し、庁内の策定委員会などでの検討を重ねてまいりました。

今後の主な予定でございますが、年明けの1月14日から2月2日までの期間で構想骨子（案）についてパブリックコメントを実施いたします。資料で申し上げますと、ちょうど真ん中あたりにございます。

また、年明けの1月7日から10日にかけて、庁内の課長級の職員で構成される検討委員会の部会を開催いたします。こちらの部会で、構想骨子（案）の内容を踏まえまして、現在、作成作業を進めております個別施策調書の検討を行ってまいります。部会では、総務環境部会、文教厚生部会及び経営部会の3つの部会を設置し、きめ細やかな検討を行ってまいります。

こちらの部会での検討を踏まえまして、1月27日と2月5日に行われます総合振興計画審議会の部会において個別施策について審議を行い、構想素案の作成を進めてまいりたいと考えております。

その後、令和2年6月に構想素案についてパブリックコメントを行いまして、第五次和光市総合振興計画につきましては2020年、令和2年の9月定例会での議案の上程を予定しております。

続きまして、2の第五次和光市総合振興計画基本構想骨子（案）につきましては、奥山政策

課長から御説明申し上げますので、よろしく申し上げます。

○吉田武司議長 奥山政策課長。

○奥山政策課長 それでは、資料2の第五次和光市総合振興計画基本構想、構想骨子（案）について説明させていただきます。

構想骨子（案）については、先日の12月19日に開催された第五次和光市総合振興計画審議会、第3回会議によって審議され、この案でパブリックコメントに付すことが決定されております。

構想骨子（案）は、人口推計や第五次和光市総合振興計画基本構想策定に向けた課題整理、社会潮流の分析などの基礎調査に加え、市民意識調査や和光100年まちづくり会議の開催などによる市民参加や若手職員による職員プロジェクトチームなどの職員参加により作成されたものとなっております。

本日は、お時間の都合もごございますので、詳細な説明は割愛させていただきますが、資料3から資料5まででお示ししてございますので、後ほどごらんいただければと思います。

それでは、資料2、1ページめくっていただきまして、目次をごらんください。

構想骨子につきましては、将来都市像と市民生活の目標像の2つから構成されております。

1ページ目をごらんください。

将来都市像につきましては、こちらに記載されております「みんなをつなぐ ワクワクふるさと 和光」という案を示させていただいております。

2ページ目には、それぞれの言葉に込められた意味を示させていただいております。

まず、「みんなを」につきましては、第四次和光市総合振興計画における将来都市像「みんなでつくる 快適環境都市 わこう」の考え方を継承し、まちづくりの主体は市民を初めとした「みんな」であることを示しています。

その上で、市内だけにとどまらず、他都市や世界とのつながりなども視野に入れ、積極的につなげていくという意思を表明するため、「みんなで」や「みんなが」ではなく、「みんなを」という表現としております。

次に、「つなぐ」につきましては、総合振興計画策定に向けて開催した和光100年まちづくり会議では、住み続けたいまちになっていくためには、人と人とのつながりが豊かであることが重要であるという意見が多く出されました。若い世代の転出入が特徴の一つである和光市においては、人とのつながりが自然発生的に生まれるのを待つだけでなく、意識的につながりをつくっていくことが求められています。

また、人のつながりだけではなく、道路や交通などを含めたインフラ面でのネットワークを強化していくことや、大切な自然環境や歴史資源などを次世代に引き継いでいくことも「つなぐ」という言葉に込めております。

次に、「ワクワク」につきましては、和光市に暮らす人にとっても和光市を訪れる人にとっても、「楽しい」と感じられたり「楽しいことがある」と思えたりできるようなワクワク感のあるまちを目指したいという思いが込められております。

また、ワクワクの「ワク」には、活力やにぎわいがあり、新しいことが次々と沸き立つような状態をイメージするとともに、和光市の大切な地域資源である湧き水が湧くようなイメージをかけており、和光市の特徴である自然資源を守っていくという意味を示しております。

最後に、「ふるさと」につきましては、和光市は東京都心部に直結する立地にありながら、緑が豊かで潤いのあるまちであり、そうした都市と田舎のよさを兼ね備えた状態を維持していくことを「ふるさと」という言葉に込めております。また、和光市への愛着やシビックプライドを持つことで、和光市をふるさとと感じ、いつまでも住み続けたいと思える市民をふやしていきたいという思いを込めています。

続きまして、3ページをごらんください。

将来都市像「みんなをつなぐ ワクワクふるさと 和光」を実現するための市民生活の目標像について御説明いたします。

第四次総合振興計画では、「快適で暮らしやすいまち（都市基盤）」、「自ら学び心豊かに創造性を育むまち（教育・文化・交流）」、「健やかに暮らしみんなで支え合うまち（保健・福祉・医療）」、「安らぎと賑わいある美しいまち（生活・環境・産業）」の4つを基本目標としておりますが、これまでの基本構想では、部局等の行政組織に即した形で市として目指すべき姿を基本目標としておりました。

しかし、今回の第五次総合振興計画においてはこの考え方を大幅に変更し、和光市で生活する1人1人の市民生活を思い浮かべ、どのような生活がしたいかという市民の視点での整理を行っております。

この関係性につきましては、資料6を御参照いただければと思います。A3の用紙になりますけれども、右側が旧施策名と旧取り組み内容、網かけになっている左側が新しい目標像と個別施策となっております。

第五次総合振興計画においては、市民参加でつくった市民生活の目標像を実現するため、市はどのようなことを個別施策として取り組んでいくのかという視点で基本構想を今後、策定していきたいと考えております。

それでは、資料2の3ページに戻っていただき、その詳細について御説明いたします。

初めに、目標像1、良好な居住環境が得られる、目標像2、安全かつ快適に移動できる、目標像3、身の回りの不安が軽減されるの3つの目標像を、「日々の生活の基盤が整っている」というくくりで一まとめにしております。

道路や上下水道などの生活の基盤が整い、快適に移動ができ、災害や環境問題などの身の回りの不安が解消されているような状態であることが市民生活のベースであるという考えのもと、土台部分にその目標像を据えております。

続きまして、目標像4、子供が自己肯定感を持ち健やかに育つ、目標像5、安心して妊娠・出産・子育てができる、目標像6、高齢になっても、住みなれた地域で暮らし続けられる、目標像7、誰もが、自立した生活と社会参加ができるの4つの目標像を、「誰も取り残さないS

DG s の考え方にに基づき、それぞれのライフステージを充実させる」というくくりでまとめております。

誰しも、人生の中にはさまざまなライフステージがあり、その中には特に周りのサポートが必要なステージもあります。そうしたライフステージにあっても、誰もがそれぞれのライフステージで充実した生活を送れることを目指すべき目標像としております。国連サミットで採択された2030年までの国際目標であるSDG s では誰も取り残さない世界の実現を目指すこととされておりますが、本市においても苦しい状態にある市民が取り残されないような政策を推進していくことが重要であると考えております。

続きまして、目標像8、健康で日々を暮らしていく、目標像9、いきいきと仕事をし続けられるについては、「健康で働き続けることができる」くくりでまとめております。

この長寿社会の中で、いつまでも健康に暮らし、生き生きと働き続けられることは、質の高い生活を送る上で最も大切なことであり、そのような状態を目指すことを目標像としております。

最後に、目標像10、趣味などを通じて充実した時間を過ごせる、目標像11、まちや人とつながり、心豊かに過ごす、目標像12、シビックプライドを持つについては、「心豊かに、満足度の高い生活を送れる」という視点で一まとめにしております。

これまでの目標像1から目標像9までの状態に支えられ、趣味やスポーツ、地域活動などの人とのつながりを通してさらに充実した生活を送り、これからも和光市に住み続けたいと思えるような満足度の高い生活を送ることが目標となっております。

5ページ以降は、各目標像ごとの、具体的にどのような姿を目指したいのか、主要な課題は何であるのかを整理したものとなっております。

この内容については、各課から提出された課題整理シートや和光100年まちづくり会議等での市民の意見を踏まえ、職員プロジェクトチームにて検討したものを事務局で精査した内容となっております。

今後につきましては、これに目標像を実現するための個別施策などを盛り込んでいながら、第五次和光市総合振興計画基本構想素案を作成していきたいと考えております。

続きまして、3、第五次総合振興計画基本構想、構想骨子（案）のパブリックコメントの実施について説明させていただきます。

資料7をごらんください。

パブリックコメントの意見提出期間については、令和2年1月14日から2月2日までの20日間を予定しております。一般的には、最終的な計画案をパブリックコメントの対象として実施する場面が多くなってはおりますが、総合振興計画については市の最上位計画であること、市民参加を充実させる観点から、その概要である構想骨子（案）の段階で一度パブリックコメントを実施し、その意見を反映した上で詳細な計画素案の策定を進めてまいります。

パブリックコメントの周知につきましては、広報1月号や市ホームページ等を予定しており

ます。

また、このパブリックコメントの実施に伴い、市民説明会を2回開催いたします。1回目は1月19日、日曜日に市役所の602会議室で、2回目は1月20日、月曜日に坂下公民館の視聴覚室にて開催いたします。検討結果の公表については、令和2年3月ごろを予定しております。

長くなりましたが、私からの説明は以上となります。

○吉田武司議長 以上で説明が終了しました。

今の説明内容を踏まえて、質疑のある方は挙手願います。

質疑はございませんか。

〔「なし」という声あり〕

質疑がありませんので、以上にて質疑を終結します。

休憩します。（午前 9時50分 休憩）

再開します。（午前 9時51分 再開）

次に、東京外環自動車道新倉パーキングエリアのサービスエリア化による地域振興について説明願います。

木村建設部長。

○木村建設部長 それでは、東京外環自動車道新倉PAのサービスエリア化による地域振興について御説明申し上げます。

お配りいたしましたA3縦の資料をごらんください。

まず、背景でございますが、外環道の延伸により、新倉PAの利用ニーズが向上することが今後、見込まれます。

東関東自動車道までは昨年度、平成30年度6月に開通したところでございます。今後は、2020年代中ごろには東名高速道まで開通することが見込まれております。そういたしますと、外環道は総延長65km区間においてサービスエリア未設置という状況になります。

外環道がつながりまして、高速道路による全方位アクセスが可能になるという状況の中で、NEXCOからはこの新倉PAの拡張についても必要性を考えているということを聞いているところでございます。

また、この新倉PAの隣接地においては、和光北インター区画整理にて基盤整備を実施いたしました約3haの未利用地がございます。このような未利用地を活用して、和光市といたしましては地域振興を図っていく好機というふうに捉えているところでございます。

そこで、方向性として、この新倉PAをサービスエリア化して、地域住民も利用できる施設といたしまして地域振興を図っていきたいと考えております。

具体的に地域振興策のイメージでございますが、地元物産のPRとかシティープロモーションの推進、またこの地域は買い物をする場も少ないということですから、地域住民の方々の生活利便性の向上にも資するようにしたいということを考えております。

今後、実現に向けた方策についてですが、まずは検討会を設置したいと考えております。こ

の検討会ですが、市長を座長とした検討会ということで、令和2年1月中に立ち上げまして、検討会のメンバーとしては、学識経験者、国、埼玉県、NEXCO東日本、それと事務局も含めて和光市が主体的に運営していくという形を考えているところでございます。

今後の目標といたしましては、この新倉PAの拡張というところがございますので、こちらはNEXCOの事業になりまして、国のほうの認可が必要となってまいります。まずは意気込みとしては早期の事業認可を目指すということで、令和2年3月末という、これは意気込みとして書かせていただいておりますが、早期の事業認可を目指していきたいと考えているところでございます。

私からの説明は以上です。

○吉田武司議長 以上で説明が終了しました。

今の説明内容を踏まえて、質疑のある方は挙手願います。

赤松議員。

○赤松祐造議員 地域にとっては商業地域にしてほしいという意見があつて、工業地域になっているんですけども、それをこういう形に持っていくのは、恐らく地域住民が喜ぶと思うんです。

そこで、これの運営はこれから検討委員会でやるんでしょうけれども、最終的にできたらNEXCOが運営をするのか。

○吉田武司議長 木村建設部長。

○木村建設部長 ただいまの御質問についてですが、先ほど御説明しました検討会を設置いたしますので、まさにそういったことも含めて今後、検討してまいりたいと考えています。

○吉田武司議長 赤松議員。

○赤松祐造議員 国の認可が早く上がれば、令和2年3月ですか。市として考える、こんなこと言っではあれかもわからないんですけども、完成希望予定を、大泉のあれが終わった後、あと2年後ぐらいをめどにするのか、そういう希望も一応持つておかないといけないと思うんですけども、その辺は持っていないんですか。完成予定です。

○吉田武司議長 木村建設部長。

○木村建設部長 完成予定についても、まさにこれからどういったものが必要かということも含めて関係者が集まって検討するというところでございますので、完成目標もまだちょっとそこは検討の中で見出していくというところかと思えます。

○吉田武司議長 大島副市長。

○大島副市長 ちょっと補足させていただきます。

これは、私の最初の挨拶の中でも申し上げましたように、外環が一気通貫になるというその機を捉えなくてはならないと思っておりますので、まだ明確に何年に開通という話が出ておりませんが、想像するに2020年代の半ばには全線開通するだろうと、東名から東関道まで完成するだろうと踏まえておりますので、その後、速やかにこれをオープンできるように、できれば

一緒にやりたいんですが、この地が今、大泉工区の工事の資材置き場にもなっておりますので、それとの関係もございます。こっちを先にやってしまうと資材置き場がなくなって工事がおくると、本末転倒してしまいますので、その辺の調整を見ながら、なるべく早い時期にオープンさせたいと、そのように考えているところでございます。

○吉田武司議長 赤松議員。

○赤松祐造議員 そうすると、七、八年ぐらい先のような感覚で見たほうがいいんですか。二、三年じゃなくて、感覚として。

○吉田武司議長 大島副市長。

○大島副市長 現在で、早くても2020年代の半ばですので、具体的に何年と言えませんが、そのくらいに外環が開通すると。それからの工事期間、その前に用地取得ですとか設計は全て、ある程度工場で作るようなものは全て整えておけば、工事期間というのは一、二年あれば何とかなるだろうというふうに考えておるところでございます。

○吉田武司議長 富澤啓二議員。

○富澤啓二議員 この構成で大変注目される文言があるんですが、地域住民も利用できる施設と。これを聞きますと、関越自動車道の三芳パーキングエリアのようなイメージを持てばよろしいんですか。あそこは外からでも徒歩で入れますけれども、大変利便性があるかなという感じがしますが、いかがでしょうか。

○吉田武司議長 加山都市整備課長。

○加山都市整備課長 こちらにつきましては、あくまで地域振興ということで、周辺にお住まいになられている住民の方も利用できるように、人とももちろん駐車場等も設けられたらいいなということで、その辺も検討会のほうで意見をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

○吉田武司議長 鳥飼議員。

○鳥飼雅司議員 1点確認させていただきたいんですが、この4つ目のところの検討会設置というところで、学識経験者、国・県、NEXCO東日本、和光市とあるんですけれども、今後の予定として検討会が設置されていきますよという、令和2年の3月末と書かれているんですけれども、和光市の今後の役割というか、和光市の立場的にというのは、その検討会でいろいろ議論はされると思うんですけれども、そこら辺の和光市の立ち位置というのはどういう状況になってくるのかというところを確認させていただきたいと思います。

○吉田武司議長 加山都市整備課長。

○加山都市整備課長 先ほどからお話させていただいておりますように、あくまで地域振興を図りたいというのが市の狙いでございますので、市民の皆さんを初め周辺の住民の方が利用できて喜んでいただけるような施設を設けるものと目的としております。

また、市としては今現在、北インター地域の土地区画整理事業は昨年度、換地処分を迎えておりますけれども、そちらに今、地区計画が定められております。今後、検討していく中で、

施設の内容とかボリューム等は決まっていますけれども、場合によってはその地区計画の一部変更等、都市計画的な手続も発生するものと思っておりますので、市としてはそういう都市計画的な手続等をしっかりやっけていながら、早期に実現できるように進めてまいりたいと考えております。

○吉田武司議長 金井議員。

○金井伸夫議員 この写真を見る限り、新倉パーキングエリア、これはこの外環道にふたをかけて、その上部にパーキングエリアをつくるということだと思んですが、確認をお願いします。

○吉田武司議長 木村建設部長。

○木村建設部長 今現在、新倉パーキングというのは、この外環自動車道の中にあるというか、本線に組み込まれている形なんです。

この赤枠で囲った部分の3haの平地に新たに駐車場を設けると。立体的な駐車場にはなると思うんですが、ふたをかけるとかそういうことではなくて、北インターの区画整理で基盤整備しましたこちらの平地、赤枠で囲った3ha、ここを利用して駐車場拡張ということでございます。

○吉田武司議長 金井議員。

○金井伸夫議員 じゃ、既に用地というか場所はこの写真のとおり確保されていると。

○吉田武司議長 木村建設部長。

○木村建設部長 写真のとおり、これは区画整理で基盤整備して、未利用地となっている約3haということでございます。

○吉田武司議長 金井議員。

○金井伸夫議員 そうすると、この振興拠点候補地とこのパーキングエリアをつなげる、アクセス、直接アクセスできるようなものが当然必要になってくると思うんですが、例えば橋をつくるのかトンネルを掘るのかというようなことになると思うんですが、そこら辺はどういうふうにアクセスは考えておられるのか。

○吉田武司議長 加山都市整備課長。

○加山都市整備課長 お配りした資料の新倉PAと書いてあるのが今、既存の施設でございます。既存の施設からこの候補地に、今、下に道路ありますけれども、上空をつなぐ形で、こちらに直接入りこめるような施設をつくりたいというふうにイメージとしては考えております。

○吉田武司議長 金井議員。

○金井伸夫議員 具体的にいうと、橋をつくるんですか。

○吉田武司議長 加山都市整備課長。

○加山都市整備課長 道路というか上空を車が通れる、渡れるような形の通路をつくるということです。

○吉田武司議長 富澤勝広議員。

○富澤勝広議員 1点だけ。地域振興策として新倉パーキングをサービスエリア化して利用し

ていこうというのは十分わかります。

仮に、これができた場合、近隣への影響が予想されるのかと思うんです。例えば交通網であったり、また市外からの流入であったり、いろいろあると思うんです。側道の部分もかなり影響してくるんじゃないかと思われま。その辺はどういうふうにお考えでしょうか。

○吉田武司議長 木村建設部長。

○木村建設部長 まず、この新倉PAが拡張されて、利用する車というのは、本線からこのパーキングに入ってくるという流れはできますが、それが外に出られるというものではございません。高速道路からはパーキングには入ってくるんですけども。

それで、それとはまた別に、地域住民のためにというのは、高速道路に乗るためではなく、あくまでもこのパーキングと一体となつてつくる地域振興施設に地域の人を入れるような形をとります。

ということなので、当然地域の人が入ってくる車というのはふえてくるので、それについては今後、警察と協議した中で、その道路の形態だとか、どういうふうにすれば影響がないかというのは検討してまいりたいと思います。

高速道路から入ってくる方が、みんなここから外に出るといふ話だと確かに大変なんです、それはないような形になるということは今、考えています。

○吉田武司議長 富澤勝広議員。

○富澤勝広議員 高速道路ではなくて、地域の方は多分、利用すると思うんです。ただ、これ側道に面しているところなので、側道利用者が利用するケースもかなり出てくるんじゃないかというふうに思われるんです。一般の人が通行していますから。その辺の影響というのは考えているのかどうか。

○吉田武司議長 木村建設部長。

○木村建設部長 ちょっとその辺は具体的な協議というのはまだこれからというところもございいますので、今おっしゃられましたように、側道からの多分アクセスというところで、警察からはいろいろ御指導あると思いますので、関係者一堂に会した中で、そこは丁寧に協議してまいりたいと考えています。

○吉田武司議長 加山都市整備課長。

○加山都市整備課長 今、こちらにお示ししている3haについてなんですけれども、これ全て商業施設とかそういうもので利用するのではなくて、新倉パーキングの駐車施設のますをふやすという部分がございますので、全て3haが地域の方が利用できるものというものではございません。

当然、この検討会で検討していく中で、施設ボリューム等、決まってまいりますので、そのボリュームがわかり次第、警察協議をきちんと進めながら、適正な規模をきちんと決めてまいりたいというふうに考えております。

○吉田武司議長 鳥飼議員。

○鳥飼雅司議員 もう1点確認させていただきたいんですが、この3haというのが自分の中のイメージで大きいのか狭いのかというイメージがちょっとつかなくて、そのサービスエリアというのは、ほかの東北道とかいろんなところですごく広いイメージがあるんですけど、その駐車場の台数等何台ぐらいを想定しているのかというのは、まだ全然多分協議もしていないか決まっていないと思うんですけども、どれぐらいを想定しているのかというのを伺いたいんですが。

○吉田武司議長 加山都市整備課長。

○加山都市整備課長 そちらに関しても、まだこれから検討会の中で当然NEXCOも参加していただくこととなりますので、検討会の中で施設ボリュームについては話し合っていくこととなると思います。

○吉田武司議長 鳥飼議員。

○鳥飼雅司議員 あともう1点、先ほども言っていた駐車場というのは、平地のところなんだけれども立体駐車場みたいな感じで台数はある程度はやっぱり確保できるというふうに捉えていいんですか。そこら辺もまた多分検討していくんだとは思いますが。

○吉田武司議長 加山都市整備課長。

○加山都市整備課長 その辺も検討会の中での検討事項になると思いますけれども、新倉パーキングエリア、今、既存の施設がどちらかというところと平地よりも少し上部にありますので、そこと同じレベルで多分つなぐ施設になるのかなと思っておりますので、今お話にあったように複数階というか立体的な構造も含めてその検討会の中でお話が出てくるものと思っております。

○吉田武司議長 鳥飼議員。

○鳥飼雅司議員 最後にあともう1点、上り線と下り線というのも、最終的にはそのこのところのほうにパーキングエリアに入ってくるような感じになるんですか。やっぱり上りと下りが分断というかちゃんと分かれるような感じになるのか。

○吉田武司議長 加山都市整備課長。

○加山都市整備課長 その辺につきましても検討会の中でのお話になるかと思っておりますけれども、当然その辺は行き来しないように、多分構造の中で考えられていくのかなと思っております。

○吉田武司議長 熊谷議員。

○熊谷二郎議員 財政的な面で、この検討会を設置して、この運営等の費用分担というのはどうなっていくのか。あるいは、地域振興の名のもとに和光市がこれにかかわって支出する金額というのは、今のところ想定できる額というのはあるのかどうか。

○吉田武司議長 大島副市長。

○大島副市長 先ほどの鳥飼議員からの質問にも関連するんですが、あくまでも和光市の役割というのは、このプロジェクトをプロデューサーというんですか、コントロールするような立場でございます。あくまでもこの新倉パーキングの拡張ということで、ハードの面については基本的にはNEXCO東日本の予算で全てやっていただくと。そのためにNEXCOが国の事

業認可をとるとというのがこの3月の目標でございます。

どういうものが入るか、中には民間の商業施設も入ってくると思うんですが、それについてもPFIの考え方でやっていくということで、基本的には市の支出はゼロとは言いませんけれども、なしという形で今後進めていきたいと、そのように考えております。

○吉田武司議長 齊藤克己議員。

○齊藤克己議員 今、検討会のお話が出ましたけれども、これ主体は和光市ということでいいんでしょうか。

それで、3月末事業認可を目指すということですので、ある程度スケジュールも忙しいと思うんですが、どんな感じで考えられているのかお聞きいたします。

○吉田武司議長 木村建設部長。

○木村建設部長 ただいまの御質問ですが、和光市が主体ということで、地域振興のために仕掛けるということですので、和光市がまずは主でやりますと。

3月末ということを目指すということなんですけれども、国の事業認可ということで、国の事業認可が出るタイミングというのが年度末になります。ですから、まずは直近の3月末を目指すということで、それに向けて、努力目標ですが、やっていくところでございます。

○吉田武司議長 小嶋議員。

○小嶋智子議員 今、市のほうでは地域振興を考えてこれをやろうという考えがある。財政的には、ハード面に関してはNEXCO東日本のほうが持っていかれるということで、和光市は地域振興を主体に考えているのかということ、もう既にNEXCO東日本はおわかりの上でこの話が進んでいるのかどうかと、あと万が一開いたときに余り地域振興には大きな効果が出なかったねというようなことにはならないようにしっかりと進めていただけるんだろうと思うんですが、その点について2点確認をさせていただきたい。

○吉田武司議長 大島副市長。

○大島副市長 基本的には、先ほど熊谷二郎議員にお答えしたように、ハードな面はNEXCOのほうでやっていただいて、市のほうでソフト施策というんですか、地域振興を図るようなものをやっていくというような役割分担で考えております。

これは、一つは高速道路としても、先ほど冒頭の説明にありましたように、65km区間にサービスエリアがない高速道路というのはないんです。どうしてもNEXCOとしてもサービスエリアが欲しい。たまたま外環というのは首都20km圏を走っている高速道路ですから、おおむね市街地を走っておりますので、このような大規模な空閑地が隣接地にないんです。そこで、ここの北インターの開発に合わせてできた、まだ計画が決まっていない土地があるということで、それでうまくマッチングをして、市としてはそれで地域振興を図っていききたい。NEXCOとしては道路利用者のサービスを向上したい、お互いがウイン・ウインの関係になるということでこれは合意したものでございます。

どういう形で地域振興を図れるのかというのは、一つは高速道路利用者がまず名前を、私ど

もとしては和光という名前をぜひつけていただいて、名前がつくといろいろな今のカーナビとか何かでサービスエリアのところへ行くと和光サービスエリアですよというのが必ず流れますので、地域プロモーションの上からも非常によくなると。

そして、これが多分唯一のサービスエリアになってくると思うんです。実現すればの話ですが、そうしますと千葉県から埼玉県を通過して東京都、神奈川県、首都圏を一気通貫するような形になりますので、そういうところの地場産品を一堂に会して、この首都圏全体の地域振興の役目も果たせるだろうと。

要は、高速道路を利用した地域振興、それと、先ほどから説明しておりますように、周辺の方もこれが利用できるような形態になりますので、この辺では商業施設が不足しておりますので、買い物したりですとか、あと地場産の農産物の直売所をつくったりですとか、そういうこともできるということで地域振興が図れるものと考えております。

○吉田武司議長 猪原議員。

○猪原陽輔議員 工事に関してお伺いしたいんですが、まだ今後の話ということで大変恐縮ではございますが、この外環自動車道の本線、そして側道に関して交通への影響、その工事している最中とかの影響はどのようなものなのか伺います。

○吉田武司議長 木村建設部長。

○木村建設部長 その工事の話なんですが、まだちょっとやっぱり具体的な部分というのは煮詰まっていないものですから、そこはNEXCOが主にはなってくると思うんですけれども、周辺に迷惑、極力影響がないような形で、警察の指導もあると思いますので、協議を今後、詰めていくところかと思っております。

○吉田武司議長 内山議員。

○内山恵子議員 この新倉サービスエリア、地域振興の拠点として商業施設が整備されるということですが、防災の観点から、特にこの辺は低い地域ですので、例えば垂直避難とかあいうものではこういう高いところの施設というものが有効だと思うんですが、防災拠点としての機能はどのようにお考えでしょうか。

○吉田武司議長 加山都市整備課長。

○加山都市整備課長 その辺につきましても協議しながら、災害があったときに避難できるような場所と想定した中で施設の設計をしていただければと考えております。

○吉田武司議長 赤松議員。

○赤松祐造議員 地域住民が使える商業地域ということで、東関東道路なんかは高速からの人は出られないけれども外の人たちは入れる、人間だけ入ることができる、そういうようなものをイメージしていいわけですね。

それと、北インターは区画整理終わっているんですけれども、この地域振興拠点候補地の黄色い線の下側に竹の下通りというのがあるんです。狭くて一番の問題の、要するにつき当りが交番がある道です。これは、もしやるときにはこの辺もよく整備しないと、現在でもすごい渋

滞状態なので、そこはセットバックするなり何か工夫が僕は必要だと思うんです。その辺はどうでしょうか。これからのことでしょうかけれども。

○吉田武司議長 加山都市整備課長。

○加山都市整備課長 検討会の中で、その施設の内容、ボリューム等は決まってまいります。当然その中で、周辺の道路の状況等を踏まえた中でその施設への、周りの地域住民が利用される出入り口についても、きちんと適正な位置を考えながら、なるべく周辺の道路に影響を与えないものの出入り口の位置を考えながら、当然、周辺の道路に影響が出るようであるならばそういうことも、例えば部分的に広げるとかということも含めて、その中で検討する必要はあると考えております。

○吉田武司議長 赤松議員。

○赤松祐造議員 あと、この3ha全てをパーキングエリアに使うのも広くて僕はいいと思うんです。それが、1、2階で、この赤い枠の右の辺の上のあたりはちょっと高層のビルを建ててほかにも使う用途を考えないと、土地の、せっかくここまでつくってサービスエリアだけじゃ、北インターの区画整理したのにちょっともったいないような気がするんですけれども、単なる駐車場と商業施設だけじゃなくて、その上に高層の、これ全部ではないですよ。例えば北インターの左のほうにJESがあるような、ビルが建てられるようなもので下を商業地に。そういうことも考えたほうがいいんじゃないでしょうかということなんです。水差すようだけれども。

○吉田武司議長 木村建設部長。

○木村建設部長 まずは、市としては先ほどお話ししたように地域振興に資する施設ということで、それであると、NEXCOの考えとしてパーキングを拡張したいと。まずは、話としては決まっているところはそこでございます。

あとは、当然この土地を所有している方々の御意見もございます。ですから、ここはちゃんと順を追って、市の考え方、NEXCOの考え方ということで整理します。

あとは、ちょっと都市計画的な話をしますと、今ここは用途的には準工ということで、地区計画も定めておまして、その中でやはりある程度の制限というのはかかってくるので、その範囲の中でできるものを行政的には考えていくというところでございます。

○吉田武司議長 赤松議員。

○赤松祐造議員 そのようにお願いします。

あと、現状をNEXCOに伝え、つかんでいるはずでしょうけれども、新倉パーキングエリアは乗用車がとめられないんです。小さい、非常に不便な実態なんです。それはもちろんNEXCOは知っていると思うけれども、今、現在大型車専用になっている。とりあえず、特に狭いんです、これ。僕ら行ってもとめられないような状況が常にあるわけです。

○吉田武司議長 加山都市整備課長。

○加山都市整備課長 現在の新倉パーキングエリアの施設概要をお話させていただきますと、駐車場で大型が22台、小型が72台とめられると確認しております。そのほかにトイレと、あと

はコンビニ等が設置されているというところでございます。

○吉田武司議長 赤松議員。

○赤松祐造議員 それは狭いので、何か大きくしてほしいというのは、僕ら使っている者としては。

○吉田武司議長 大島副市長。

○大島副市長 今、各議員から工事のこととか周辺の道路はどうなるんだ、交通がどう変わるんだという、いろいろ御不安なこともあって質問が出ておりますが、現段階ではまだこういう大きな枠組みでこういう形でやりたいという形でNEXCOとの合意も得ているということでございます。

今後、詳細については検討会を重ねる中である程度ものが出てくる。またそういうものがある程度決まった段階で、またこういう全協の席をおかりするような形で説明させていただきたいと思っておりますので、御理解をいただきたいと思っております。

○吉田武司議長 富澤勝広議員。

○富澤勝広議員 未利用地を活用するというのはわかったんですけども、建物等の整備はNEXCO東日本がやるんでしょうけれども、土地の部分、未利用地地権者が何人かいるんでしょうが、その利用は賃貸にするのか。NEXCOが買い上げるのか、どういう形になるんでしょうか。

○吉田武司議長 木村建設部長。

○木村建設部長 基本的には、NEXCOのPA拡張ということですので買収という形にはなりません。それは基本的な考え方でございます。

○吉田武司議長 ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」という声あり〕

なければ、以上にて質疑を終結します。

その他、各議員からございますか。

〔「なし」という声あり〕

なければ、本日の協議事項はこれにて終了しました。

記録につきましては、正副議長に一任願います。

以上で全員協議会を閉会します。

午前10時24分 閉会

議 長 吉 田 武 司

副 議 長 待 鳥 美 光